

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2015年10月4日）

2015年10月5日（日）は第61回野田村大運動会でした。主催は野田村、主管・運営は野田村教育委員会と第61回野田村民大運動会運営委員会です。

時間を逆算し、事務局は朝4時20分にボラセン前に集合し、荷物を正門まで運搬、朝4時45分に大学正門をバスで出発しました。いつものように休憩する花輪SAと道の駅おりつめは、トイレと自販機等以外は閉まっていました。



会場の山村広場（久慈工業高校の隣で、建設中のインターチェンジから坂を上ったところにあります）に8時前に予定通り到着したところ、すでに会場準備が始まっていたため、慌ててお手伝いを開始しました。我々は、主にライン引きと、雨でぬかるんでいる箇所をスポンジでひたすら搾り取る作業（さすがに完全には乾かないのですが、みるみるうちに水たまりがなくなります）をしました。



9時に開会式が始まり、僭越ながら我々も役員団のあとについて入場行進をさせていただき、ラジオ体操をしました。地区ごとにチーム編成をして、新山地区、城内上地区、城内中地区、城内下地区、明内横合地区、泉沢中平地区、米田南浜地区、玉川地区の8チームで争う方式です。小中学生だけでなく、20代から40代の若手の方が多く参加されていたのが印象的でした。弘前や東京の市街地では考えられないことだと思います。



我々は市民11名、学生7名、教員1名の計19名の参加だったため、事前に4~5人ずつで準備係、審判係、選手誘導係、応援係に分かれておき、適宜お手伝いに入りました。

成人3人が騎馬、小学5・6年生が馬に乗って帽子を取り合う「騎馬戦」や、小学生と保護者が組む「親子で障害物レース」、小学生以下と55歳以上の人で玉入れ競争をする「孫の手も借りたい」、小学生・中学生・15~29歳・30代・40代・50歳以上計10名が参加する「地区対抗リレー」など、地域が一丸となる微笑ましい競技種目ばかりでした。公平さを損ないかねないため、我々がどこかのチームに混じって参加することはできなかったのですが、最後の野田音頭野田節は皆と一緒に踊りました。事前に踊りの先生から振り付けを教わったのですが、意外と難しいですね。



閉会式終了後、片付けをお手伝いし、終了後グラウンドのベンチで昼食を取りました。当日の屋台で購入したニンニク味噌つき豆腐や、いつものことながら市民の方が持ち寄って下さるおかずがとても美味しかったです。14時にはバスに乗り、道の駅のただで学生スタッフが学祭用のお菓子類を購入し、いつものルートで帰路につきました。

17時50分に大学正門前に到着し、ボラセンに荷物を運び、簡単な反省会を行って解散しました。

(担当：河合正雄)